

とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第5回目）7月18日

【活動内容】『砂に水を混ぜるとどうなる？』

- 砂をはかりに左右釣り合うようにのせ、水を入れると入れた方は重さが変わることを見て感じる。
- 乾いた砂の状態から、水を入れると感触が変わることを触って感じる。
- 土や砂に水を少しずつ好きなように混ぜたり、掛けたりし、見た目や色、硬さが変わることを体験する。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- はかり、ビーカー、水、砂、チューブ容器

【子ども達の姿と発見】

- 砂を集めてきてもらう。砂をはかりに入れて、量によって天秤が動いたり、水を足してまた傾きが変わることを見て感じた。「うごいた」「またうごいた」と反応しながら、水を入れた砂に興味を示す。水を入れた砂を子どもが混ぜると「どろどろ」と感触を感じる姿があった。

※今回は、砂と水の量の変化から泥水に変わる様子や、感触を感じられたため、次回は砂の種類によって見た目や感触が変わるのか一緒にみていく。

（第6回目）7月29日

【活動内容】『なんの砂？』

色々な種類の砂、土（砂場の砂、粘土質の土、畑の土、観葉植物の鹿沼土）を見たり触ったりして違いを感じる。水を混ぜて変化する様子を見たり、触ったりしてみる。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- 園庭の砂場の土、粘土質の土、畑の土、園芸用鹿沼土、水、はかり、砂ふるい、砂場用トレイ

【子ども達の姿と発見】

- 保育士が始めに種類の違う砂をトレイに少しずつのせて見たり、触ってみる。「サラサラ！」「茶色だね」など違いを感じていた。
- はかりに入れると傾く。「重いんだね」手を広げてバランスを取るようなポーズをする子どももいた。（表現活動にも発展できる）
- 保育士が水を入れてみると、「触りたい！」と触ってみると「べたべた」「泥んこだ！」「オレンジになった（鹿沼土）」と様々な土、砂の変化を感じ握って泥団子を作り始めた。
- 園庭の土、小石の違いを発見し軽石を集めたり、小石を集めたり大事そうにしている。

※今回は色々な土、砂の違いを感じる事が出来たので、次回は泥団子を作るなど触感の違いを感じる事の出来る活動をしていきたいです。

